

生涯を見据えたキャリア形成支援の推進

資料4

「夢や目標を持ち、具体の計画を立て、それに向かって進んでいく力」(キャリアプランニング能力)を育むイメージ

発達段階を踏まえた 推進のポイント

高等学校
社会人・職業人として必要な能力等の伸長・深化
生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成する。
勤労観・職業観を自ら形成・確立する。

中学校
学校から社会・職業への移行の準備
社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く。

小学校
社会で自立的に生きる基盤の育成
社会性、自主性・自律性、関心・意欲等を養う。

幼稚園・保育所等
生涯にわたる人格形成の基礎の育成
自発的・主体的な活動を促す。

教育活動全体を 通じた具体的取組

各教科(公民、産業社会と人間)等、
生徒会活動、ボランティア活動、高校生就業体験事業、高校生ふるさと貢献事業、
進路に関する講演会、オープンキャンパス等

各教科(社会)等、
生徒会活動、トライやる・ウィーク、
進路学習、オープン・ハイスクール等

各教科等、
児童会活動、係活動、職場見学、環境体験事業、自然学校等

友だちとの遊び、集団での活動、直接的な体験(自然体験、感動体験、貢献的な体験)等

多様な学びの場の提供
普通科・総合学科・専門学科等

自己理解・自己管理能力
キャリアプランニング能力
課題対応能力
人間関係形成・社会形成能力

教育活動全体を通じて進めてきたキャリア教育を発展させるため、
小・中・高等学校と継続して、キャリアプランニング能力を育む「キャリアノート(仮称)」等を活用